



参議院選挙 10日投開票  
共産党 仁比そうへい氏国会復帰果たす  
比例代表で3名、選挙区で1名(東京)当選



山口県本部版  
NO 286  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
山口県本部  
〒754-0004  
山口市小郡金堀町  
21番の1  
林洋武方  
電話&FAX  
083 (972) 3987

◆参院選、オール沖縄の伊波氏激戦制し再選なる。

◆自、公、維、国民の改憲勢力が参議院で3分の2  
越える。

◆今回選挙中に安倍元首相が銃撃され亡くなりま  
した。暴力による言論の抹殺、民主主義の破壊  
を断固糾弾する。

◆2022年原水爆禁止国民平和行進が7月21  
日下関入り。8月2日和木町で広島県に引き継  
ぎます。

◆今年の山口県母親大会は8月28日(日)光市民  
ホールで開かれます。

◆映画「伊藤千代子の生涯」、県下の第2次上映は  
宇部市多世代ふれあいセンターで9月10日  
(土)に行われます。

◆国賠の新年度請願署名の第一回集約は6月末現  
在で75筆です。

◆同盟県本部の7月度役員会議は8月5日午後1  
時30分から共産党県委員会で行います。

## 最後の4・16被告

### 田熊真澄さんへ聞く

〈その15〉

田熊 当時、戒戒師には真宗の坊さんが多かったのです。休みの日に、戒戒堂に囚人を集めて戦争賛美と大東亜共栄圏問題の説教を繰り返していました。私は、この集まりには危険人物だから出してもらえないのですが、隣の戒戒堂でやるのでその話している内容はよくわかるのです。墨衣の管理だ、ファツシヨ化だとやっつけたと覚えています。それに反論したので彼らは困ったのではないでしょう。そのためか「反省が不十分」ということだったのでしよう、出獄の日にお袋とうちの寺の和尚(多分、民生委員かなにかしていたと思いますが)が塩田村から迎えに来ていましたが、朝八時の出獄の予定時間を三時間も遅くされて出獄しました。これには

お袋も「せっかく来たのに」と怒っていました。

### 野菜作りに力を入れて

田熊 出獄のさい、山口市米屋町にあった田熊書店(たまたま同じ姓でしたが)で野菜作りの参考書を二冊、「農業と肥料」と「蔬菜栽培」といった本を買いました。刑務所では一六円か七円くらいお金がありましたので、その金で買いました。獄中で、「百姓をするにしてもコメだけでは食えない。野菜作りをしよう」と考えていました。岩田駅に着いたのはもう暗かったです。しかし、刑事がずっと後をつけていました。もう秋の獲り入れは終わっていました。出獄後は、刑務所で考えていた野菜作りに精を出しました。家の土地だけでは足りないのです。田布施町の今の役場の前の山側の畑を三反半ほどを借りて、茄

子、きゅうり、たまねぎ、にんじん、キャベツ、白菜など多種類の野菜をつくりました。はじめはこの塩田村から自転車通勤していましたが、その後田布施に家を借りました。野菜作りは順調で収入もあり、妻とそのうち家を建てようと言っていました。

林・大田 柳井の共青事件関係者との関係はなかったのですか。田熊 やはり監視が厳しいというか、身動きができない感じでした。ほとんど連絡はありませんでした。林 結婚のとき、「アカのところ」に嫁をやるななどの妨害はなかったですか。田熊 それはなかったですね。

結婚は私が満二九歳。妻は大正六年生まれの九つ下でした。遠い親戚のものが、よい娘がいるということでお見合いをしました。アカだということで差別感

はないようでした。妻も、この頃、顔にやけどをしその跡が残っていたこともあって、親戚なども反対はなかったと思います。妻は卵巣に病気があって子どもがなかなかできませんでした。

満州事変がはじまり太平洋戦争に拡大して、戦争は激しくなっていました。私は「戦争は勝つはずがない」とずーっと思っていました。みんなが「勝つた。勝つた」といつてた時にも醒めているというのか、「そんなにうまくいくはずがない」と信じていました。

### 下関高射砲部隊へ応召

#### そして終戦

田熊 昭和十八年十二月、妻が待望の子どもを身ごもったとき召集がかかりました。丁度、帯祝いのときでした。